

みずほCustomer Desk Report 2017/02/03 号(As of 2017/02/02)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	113.30	1.0768	121.93	0.9928	1.2663	0.7585
SYD-NY High	113.36	1.0829	122.00	0.9938	1.2706	0.7696
SYD-NY Low	112.05	1.0756	121.22	0.9870	1.2518	0.7577
NY 5:00 PM	112.80	1.0757	121.41	0.9928	1.2528	0.7656
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.055/12.41	△25RR	0.735	Yen Call Over		

NY DOW	19,884.91	▲ 6.03	債券市場	日本2年債	-0.2070	0.8bp
NASDAQ	5,636.20	▲ 6.45		日本10年債	0.1160	1.8bp
S&P	2,280.85	1.30		米国2年債	1.2046	▲0.8bp
日経平均	18,914.58	▲ 233.50		米国5年債	1.9228	▲0.7bp
TOPIX	1,510.41	▲ 17.36		米国10年債	2.4737	0.4bp
シカゴ日経先物	19,075	▲120.00	為替市況	独10年債	0.4270	▲4.1bp
ロンドンFT	7,140.75	33.10		英10年債	1.3830	▲6.6bp
DAX	11,627.95	▲31.55		豪10年債	2.7700	3.3bp
ハンセン指数	23,184.52	▲ 133.87		USD/CNH	6.8101	▲ 0.0209
上海総合	-	-		ドルインデックス	99.79	0.15
USDJPY 3M Vol	12.21	▲0.01%	商品市況	CRB指数	193.520	▲0.82
USDJPY 6M Vol	12.17	▲0.03%		NY金	1,219.40	11.10
EURJPY 3M Vol	11.44	▲0.14%		WTI	53.54	▲0.34
EURJPY 6M Vol	12.62	▲0.04%		Dubai Spot	54.88	1.61

東京	東京時間のドル円は113.30レベルでオープン。前日FOMCの結果が3月利上げを示唆する内容とならなかったと受け止められたことに加えて、日経平均株価が軟調推移となるとドル円も連れ安となり一時112.88まで下落。その後113円台を回復する局面もあったものの、上値は重く112円台に戻された。安倍首相から「大統領やトランプに上げることは政治 이슈にすることだ。為替は政治 이슈にすることではない」との発言があったが相場への反応は限定的となった。10年債入札の結果が低調に終わったことを受けて10年債利回りが2016年1月以来の水準となる一時0.115%まで上昇、日経平均株価は引けにかけて一段と下落する展開となるとドル円は東京時間安値となる112.47まで下落した後、112.65レベルで海外へ渡った。また、豪12月貿易統計において黒字幅が過去最大となったことを受けて豪ドルは急騰。対ドルで0.7585レベルでオープンした後、豪12月貿易統計の発表後に0.7630付近まで上昇。その後も底堅い推移が継続し0.7642レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間中のドル円は下落。朝方は112.65レベルでオープン。一時112円台後半まで小幅上昇したものの、その後は全般的なドル売りにより上値の重い展開となり、112.42レベルでNYへ渡った。ポンドドルはBOEの金融政策発表前は調整買いとなったものの、発表後は下落。朝方は1.2670レベルでオープン。ロンドン時間序盤はドル売りの流れもあり一時1.275ちょうど付近まで上昇。その後のBOE会合では政策金利、資産買い入れプログラムを共に据え置くことを全会一致で決定。注目されていた成長率予想は2017年、2018年共に引き上げられた一方で、同期間のインフレ予想はほぼ据え置かれる形となった。また、自然失業率が5.0%から4.5%へ引き下げられた。発表後ポンドドルは大きく下落し、1.2573レベルでNYへ渡った。(ロンドン-ルフト 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	翌日米1月雇用統計の発表を控えたポジション調整の動きやトランプ新政権のドル高牽制発言以降のドル売りから、海外時間のドル円は軟調に推移。前日米1月ADP雇用統計発表後に113円台後半で構築された短期勢ロングポジションの投げも散見されるなか、113.30レベルから112.25まで下落して112.42レベルでNYオープン。BOEが予想に反しハト派寄りの結果となったことから英長期金利が急落する動きに連れて米長期金利も低下。ドル円は1月31日につけた直近安値112.08を下抜け、安値112.05まで下落。しかし、同水準では買い意欲が見られ、米金利も上昇に転じたことから、高値112.85まで回復し、112.80レベルでクローズした。一方1-ポンドは1.0805でオープン。朝方は米長期金利の低下を受けて高値1.0829まで上昇したが、その後は米長期金利が反発したことからドル買い戻しが強まり、安値1.0756まで下落し、1.0757でクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 西谷・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月2日	8:50	対内・対外証券投資	-	-
	9:30	貿易収支	12月	A\$3.511M
	19:00	PPI(前月比/前年比)	12月	0.7%/1.6%
	21:00	BOE政策金利/資産購入目標	-	0.250%/435B
	21:30	カーニ-BOE総裁会見	-	-
	22:30	新規失業保険申請件数	-	246K
			-	250K

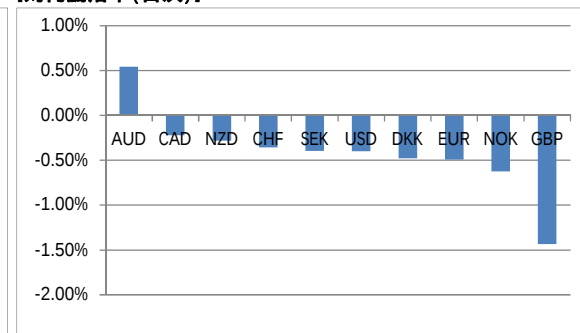
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月3日	8:50	日銀金融政策決定会合議事要旨公表	-	-
	10:45	Caixin製造業PMI	1月	51.8
	19:00	小売売上高(前月比/前年比)	12月	0.3%/1.8%
	22:30	非農業部門雇用者数変化	1月	180K
	22:30	失業率	1月	4.7%
	22:30	平均時給(前月比/前年比)	1月	0.3%/2.8%
	23:15	エバンス・シカゴ連銀総裁講演	-	-
2月4日	0:00	ISM非製造業景況指数	1月	57.0
	0:00	製造業受注指数	12月	0.5%
	0:00	耐久財受注・確報値(前月比)	12月	-
	0:00	耐久財受注(除輸送用機器)・確報値(前月比)	12月	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.20-113.70	1.0700-1.0850	121.00-122.20

【マーケットインプレッション】

昨日海外市場のドル/円は下に行き来いの展開。イングランド銀行の金融政策は現状維持となったものの、成長率予想の引き下げと利上げ観測期待後退から英国債券利回りが低下し、つれて米債利回りが低下するとドル/円も金利差縮小観測から直近安値を更新し、一時112.05円まで下落した。その後は押し目買い需要から反発し、112円台後半まで値を戻し、本日を迎えた。本日は今夜米国で重要指標である雇用統計の発表を迎えるため、東京時間中での値動きは限定的となることが予想され、日中は112円台後半でのレンジ推移を予想する。ただし、本日は中国市場が春節明けでマーケットに戻ってくることもあり、人民元の値動きには注意を払っておく必要がある。米雇用統計については、足元の経済指標の動向を見る限り過度に悪い結果が出ることは想定しにくく、結果発表直後の反応は限定的になるものと予想する。